ほおずき通信
（JA女性部通信）

12月12日　家の光大会

家の光大会では記念講演がありました。
今回は「ベロと足を伸ばして美しい人生を！」と鼻呼吸の講演でした。
「薬を使わずに病気を治す」とても勉強になりました。
「あ･い･う･べー」体操を女性部役員さんに尋ねてみてください。

宮崎県家の光大会　家の光協会会長賞（普及優良）を頂きました。

岡元小学校収穫祭
昔ながらの羽釜でご飯をたきました。

◆お問い合わせ先　生活課　３３－５７４３◆

◎ちょっと まるまる ○○なはなし

加工グループメンバー
みそ･菓子商品化に向けて頑張っています。

みんなのよい食プロジェクト

黒豆入り煮豚

☆　材　料　☆
・豚肉ブロック…４００ｇ
・しょうが…１片
・エーコープ黒豆ごはんの素…１缶
・ねぎ(青い部分)…１／２本
・エーコープ新調味みりん風…大さじ３
・砂糖…大さじ３～４
・エーコープしょうゆ（こいくち）…大さじ４

☆　作り方　☆
① 豚肉をフライパンで油をひかずに弱火で焼き色がつくまで焼く
② 鍋に①の豚肉、黒豆ごはんの素の煮汁、ねぎ、みりん、豚肉が浸る程度の水（カップ２～３）を入れ、落とし蓋をしてアクを取りながら３０分～１時間煮る。途中で１～２回ひっくり返す
③ 黒豆としょうゆ、砂糖を加え、さらに１０分ほど煮る
④ 豚肉は食べやすい大きさに切り、煮汁はお好みで水溶き片栗粉を加えてとろみをつける

※冷蔵庫で一晩置くと、味がよくしみ込みます

ぼくはいや　いじめするのも　されるのも

営農情報

☆12月期子牛セリ結果

12月12日～14日までの3日間、子牛セリ市が西諸畜連で開催されました。成績は左表の通りで、前回セリより高値で取引きされました。

子牛セリ市終了後の事故が多発しています。解約や値引き等発生しないように生産者の皆さんは、飼養管理には充分注意して下さい。子牛生産検査以降に発生したケガや尿石等の事故、その他小さなことでも気付いた点は、担当者に相談するか、またはセリ市上場時に必ず発表するようお願いします。

去勢子牛で発育の良いものは早期出荷を行い、飼育費の削減を図り所得の向上に努めましょう。雌子牛については、積極的に品評会に出品し、付加価値の高い優良素牛生産に努めましょう。

今後も、各種導入事業の有効活用を図り優良雌子牛を導入し、母牛の増頭、更新を積極的に行いましょう。お問い合わせは畜産課(☎33－5747)までお願いします。

平成25年12月期子牛セリ市結果

		今回(25年12月)		前回(25年11月)			前年(24年12月)		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
JAえびの市管内	メス	115	545,771	99	479,012	66,759	84	411,387	134,384
	去勢	121	619,838	121	581,127	38,711	96	524,464	95,374
	計	236	583,746	220	535,175	47,571	180	471,695	112,051

◎畜産関係◎

☆12月期郡子牛品評会

12月6日、西諸畜連で郡子牛品評会が開催されました。

JAえびの市管内から13頭が出品され、成績は左表の通りです。(敬称略)

平成25年12月期郡子牛品評会成績

	名号	出品者(敬称略)
壱等賞	ひでみ	堂原昭八
〃	やよい	中村利弘
〃	第186べっぷ	坂元幸保
	ひなこ	盛田美次
〃	第182おしん	坂元幸保
〃	みやび141	横山雅俊
〃	ひかり	富永治義
〃	みやび140	横山雅俊
弐等賞	はなこ	常増清昭
〃	第71とも	蕨内智之
〃	ひな	中村利弘
〃	ゆみ	森田誠一
〃	まどか	川野信夫

※壱等賞・弐等賞は、序列は付けてありません。

吉留さんが優等賞２席

平成２５年度西諸牛振興会枝肉共励会が１２月２日、(株)ミヤチク高崎工場で開かれました。西諸管内の肥育農家らそれぞれ４６頭(ＪＡこばやしから３６頭、当ＪＡえびの市から１０頭)出品し、吉留弘さんが優等賞２席に選ばれました。

枝肉は、平均枝肉重量４９０．５kg、平均単価はkgあたり２，０４７円で取引されました。

西諸牛振興会枝肉共励会

生産者(敬称略)	性別	血統			生年月日	体重(kg)	枝肉重量(kg)	等級	BMS	単価(円)	入賞区分
		父	母の父	母の祖父							
吉留　弘	去勢	忠富士	福之国	安平	H23年5月29日	786	506.9	A5	10	2,950	優等２席

平成 25 年度ＪＡ主催冬季肉牛枝肉共励会

生産者（敬称略）	性別	血統			生年月日	体重(kg)	枝肉重量(kg)	等級	BMS	単価(円)	入賞区分
		父	母の父	母の祖父							
神田譲市	去勢	秀菊安	忠富士	平茂勝	Ｈ２３年７月１０日	780	512.7	A5	10	2,900	１席
常森　信	去勢	勝平正	安平	福桜	Ｈ２３年７月２３日	784	491.8	A5	10	2,800	２席
橋口誠也	去勢	忠富士	糸北国	安平	Ｈ２３年７月１０日	740	488.9	A5	10	2,700	３席

神田さんが１席

平成 25 年度ＪＡ主催冬季肉牛枝肉共励会が１２月５日、（株）ミヤチク高崎工場で開かれました。市内の肥育農家ら１２人が２４頭出品し、神田譲市さんが１席に選ばれました。

枝肉は、平均枝肉重量５００．２kg、平均単価はkgあたり２，０５９円で取引されました。

家畜伝染病の継続的な防疫の実施について

生産者の皆様におかれましては各自、防疫の徹底に努められている事と思いますが、家畜伝染病進入防止策として再度防疫の徹底について、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

具体的には、下記の取り組みを行いましょう。

１．畜舎の消毒
出荷後、敷き料を除去した空の畜舎などを、動力噴霧器により洗浄・消毒を行いましょう。動噴がない場合は消毒薬をジョウロなどで散布しましょう。

２．消石灰散布
車両が入ってくる農場入り口に、全体的に白くなるように散布します。

３．踏み込み消毒槽の点検
畜舎入り口の踏み込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認しましょう。
踏み込み消毒槽は必ず設置するようにし、消毒薬が汚れたらすぐに取り替えるようにしましょう。

４．畜舎周辺の清掃
畜舎周囲の除草や草刈等を含めた環境の整備に努めましょう。

また、日頃から以下のことを励行しましょう。

１．他の農場等に立ち入った者がみだりに畜舎に入れないように、ロープを張るなどの対策を講じましょう。
２．飼料運搬等の車両は農場に入る前に消毒を徹底しましょう。
動噴が無い場合は、バケツに消毒薬を作り、洗車ブラシ等で車両の足回りを中心に消毒を行うようにしましょう。
３．人工授精や飼料運搬の人などへの外部者専用長靴を準備しましょう。
４．日頃から農場に入ってくる車両の記録を行いましょう。

営農情報

☆イチゴ

（担当：山下）

収穫や栽培管理に気を取られがちですが、すでに次作は始まっています！　無病親株の確保がいちごの安定生産につながります。育苗床、培土の土壌消毒の徹底も合わせて行いましょう。

・雨除けと架台設置による健苗育苗対策

架台の高さと幅は、作業者に合わせ調節を行ってください。プランターは2本植えと3本植えがありますが、1株から何本苗を採るかで計算してください。雨除けは炭そ病対策として行ってください。

・電照時間

今後、いちごの生育を考えた電照時間に変更してください。

詳細は、晴れの時、生育状況に合わせて4～6時間行ってください。曇りの時は日照に合わせて時間を短くしてください。雨の時は0時間にしてください。雨の時6時間電照すると光合成していない葉がもやし状になる為です。また、時間の長短については、見た目で判断せず、芯葉展開時の葉柄長（9～10㎝の扇葉）の展開により決断してください。

◎園芸関係◎

・温度管理

午前中　25～28℃
午後　20～25℃
夜　7℃以上
（灰色カビの多発している所は10℃）

暖房機のノズルは近頃交換しましたか？黒い煙が出て不着火になっている所がありますので注意してください。二重資材は、雨・雪であっても毎日必ず開閉してください。

・摘要、果梗の除去

収穫が終了した果梗や下葉は、早めに除去しましょう。

極端な葉かぎは草勢低下につながるので、枯葉を葉かぎする程度としてください。

・病害虫防除

ダニ

バロックフロアブル（卵・幼虫）
2000倍
スターマイトフロアブル（卵成虫）2000倍
マイトコーネフロアブル（成虫）
1000倍
ダニサラバフロアブル（卵幼虫）
1000倍

ダニ・アブラムシ

マブリックジェット
50g／400㎥
アブラムシ
アーデント水和剤
1000倍
モスピランジェット
50g／400㎥
うどん粉
フルピカくん煙剤
50g／500㎥

※農薬で1回しか使用できないものは、薬剤の散布量に注意してください。特にダニ剤は注意をしましょう。

いちご

☆デルフィニュウム

（担当：加治佐）

2番花の生育の時期になりますのでカルシウム剤の散布を行うようにしましょう。

温度管理については、夜温10～13度を確保します。燃料の使用量が増える時期になりますので、被覆材の隙間を無くし、風当たりの強い所では古ビニールなどをサイドにまわすなどして燃油の節減に努めましょう。

☆スナップエンドウ

（担当：加治佐）

温度は5℃から20℃で管理します。25℃以上の高温になると着莢が悪くなり、霜害を受けやすくなるので、寒い日も降雨日も努めて換気を行うようにしましょう。

☆ピーマン

（担当：中村）

2月下旬から3月定植に向けた作付準備のために土壌消毒を遅くとも1月20日までに行いましょう。土壌消毒後、定植の2週間以上前に施肥や土壌の改良、マルチ張りを行いましょう。定植直前に畦立てやマルチ張りを行うと、地温が下がった状態になり、初期成育の遅れや収量減に繋がります。マルチ張りから2週間以上空けて定植する準備を進めましょう。

JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

☆白ネギ

（担当：加治佐）

継続的な出荷をお願いします。また、翌日に降雨が予想される場合、前日に翌日分まで収穫しておくようにしましょう。

☆栗

（担当：山下）

老木樹は主枝を3本程度にして、一つの亜主枝を2～4本程度確保します。大玉果生産のためには、太さ10ミリ以上長さ30㎝以上の結果母枝を樹冠1平方メートル当たり3本になるように整理してください。

☆加工甘藷

（担当：柊山）

来年度に向けての作付計画や圃場準備をお願いします。新規作付希望の方がいらっしゃいましたら農産園芸課（☎３３－５７５６）へご連絡ください。

土壌分析で圃場の状況にあった施肥を実施しましょう。

☆グリーンボール・キャベツ

（担当：柊山）

来年度の春播きグリーンボール・キャベツの取りまとめを実施しています。作付希望者の方は早目に連絡をお願いします。農産園芸課（☎３３－５７５６）までお願いします。

☆加工人参

（担当：柊山）

異物混入に注意し、収穫調整を実施しながら、収穫してください。栽培管理記録簿を必ず提出してください。

☆加工ほうれん草

（担当：中村）

厳寒期で成長が緩慢な場合は生育促進のためバイトール2号を５００倍で葉面散布を行ってください。アブラムシの発生も見られますので圃場の管理に注意しましょう。ほうれん草の収穫は雑草、豆葉、黄葉、枯れ葉などの混入に注意して収穫してください。

☆ゴーヤー

（担当：中村）

26年度のゴーヤー栽培の申し込みをされる方は農産園芸課までご連絡をお願いします。定植時期は、ハウス抑制栽培は3月上旬～4月上旬定植で収穫時期が5月上旬から8月まで。露地栽培は4月20日～6月上旬作付で7月～9月下旬までの収穫となります。26年度作付希望の方は土壌分析や経済連認証申請の準備を進めますので申し込みされる方はご連絡をお願いします。販売先の価格も安定していますので、ぜひ取り組みをお願いします。

☆キンカン

（担当：山下）

「たまたま」出荷解禁日が平成26年1月15日と決定しました。えびのきんかんのブランドを守るため、傷果・うちみ果などに注意を払って選別をし、出荷してください。

オリーブの栽培をしてみませんか

オリーブは排水良好な土地を好む樹木です。オリーブの苗について、ゴールド工業（株）様より無償で提供していただけます。苗の本数は10ａあたり40本で、今年度の予定植栽面積は2.5haです。

説明会への参加を希望される方は、**１月３１日㈮まで**に下記の問い合わせ先までご連絡ください。

◆問い合わせ先◆　農産園芸課　３３－５７５６

農業用廃プラスチックについて

農業用廃プラスチックは決められた収集日にだして下さい。

◎ポリフィルム(マルチ・肥料袋等)

・集積場所　　えびの市一般廃棄物最終処分場

・集積日　　奇数月第３火曜日

次回: １月21日㈫

・時　間　　午前９時～午後４時

※ビニールとポリマルチは混ぜないように注意して下さい。

※集積日が休日の場合は、次の日になります。

あたたかい　言葉のシャワーで　えがおさく

営農情報

☆水稲

（担当：内村・朝倉）

〈平成25年度米検査格下げ要因と発生割合〉

当えびの地区管内における25年度の米検査状況については、表の通り1等米の割合が昨年より増えましたが、2等米が半分以上を占める結果となりました。

平成25年産米検査結果（品種別）

格下理由	ヒノヒカリ	にこまる
【1等米】	31.7%	81.2%
【2等米】	67.9%	18.7%
【3等米】	0.4%	0.1%
【規格外】	0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

平成25年産米検査結果

格下理由	平成24年度	平成25年度
【1等米】	13.0%	43.9%
【2等米】	84.8%	55.6%
【3等米】	2.0%	0.5%
【規格外】	0.2%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

※等級比率につきましては、JA米・一般米を含めた合計となっております。

平成25年産米検査格下げ要因と発生要因

格下理由	平成24年度	平成25年度
整粒不足	66.0%	84.9%
心白及び腹白	11.9%	11.0%
着色粒（カメムシ類等）	7.8%	3.3%
胴割れ	14.3%	0.8%
異種穀粒（ヒエ・籾混入）	0%	0.0%
合計	100%	100%

※整粒不足･･･青未熟を除くその他の未熟粒、充実度不足、心白･腹白の混入、形質不良など整粒以外の割合が多く、結果的に整粒が不足しているものの総称です。

◎整粒不足

8月下旬から10月にかけてのトビイロウンカによる吸汁被害や、それにともなう坪枯れの発生によるものが主な要因と考えられます。また、10月上旬の台風接近や害虫により、早刈りの圃場が見られたのも要因だと思われます。

◎心白

昨年は6月上旬の植え付けで多く見られたようです。7月の梅雨明け後は降雨が少なく、日照時間が増加しました。そのため、移植後の生育は順調に推移し、分けつも平年より多かったようです。そのことから平方メートルあたりの籾数が増加しました。しかし、登熟期前半に高温が続いたことにより心白の発生があったものと思われます。

◎稲こうじ病

一昨年は発生が多く、注意が呼びかけられました。昨年は発生があまり確認されませんでしたが、今後も注意が必要です。発生要因は、堆肥過剰による窒素過多と長時間の降雨が原因と思われます。紙袋に混入・検査時に発覚すると規格外扱いとなるため、過去に稲こうじ病が確認されている圃場は防除を考慮しておきましょう。

〈近年の稲作環境と品質向上に向けた対策〉

昨年から、心白・乳白粒の対策として設けていた6月20日田植基準日の見直しをしました。要因となる心白・乳白粒の発生を抑えるにはなかなか思うような結果が得られなかったこと、「にこまる」の導入によるものがありました。しかし、にこまるとヒノヒカリ2品種あることから昨年同様に植付け日の推進を図り、区別化をしていきたいと考えます。

稲作振興会をはじめ、水利関係では各土地改良区の皆様方のご理解とご協力をお願いします。

〈土壌診断による適正な施肥設計を行い、経費の軽減に努めましょう〉

土壌診断は随時受け付けていますが、1月後半以降は特に申込みが集中します。早めの依頼と2月末までの申し込みをお願いします！（※状況によりますが標準で1ヶ月程度かかります。）

・一点当たり500円の診断料が必要となります。

・申込み先：農産園芸課（33－5756）

・必ず乾燥した土を提出してください。地区、氏名、作付水稲を必ずご記入ください。

《水稲苗の予約外の取り扱いについて》

3月1日以降の水稲苗の申込みにつきましては、従来通り予約外扱いとなります。苗の予約をされた方で、植付け時に不足分が発生した場合、申込みいただいた枚数の1割分の枚数については予約内単価で対応します。

申込みが遅れますと、育苗計画の作成および作業段取りの関係から、苗の受け渡し時期が6月25日以降になる可能性がありますのでご理解とご協力をお願いします。

営農情報　◎担い手支援関係◎

平成２５年度確定申告用証明書の発行について

平成２５年度所得税の確定申告の際に必要な①農業労災掛金、②農地保有合理化事業ならびに農地利用集積円滑化事業における賃貸借料の各種証明書を準備しました。

必要な方は『ＪＡ各支店の『営農受付係』』にてお受け取り下さい。

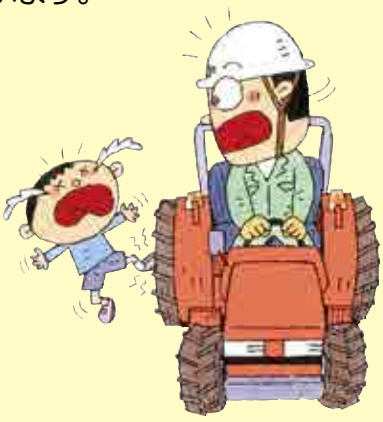
☆お問い合わせ先　担い手支援課　℡３３－５７５８　飯野支店　℡３３－１０１１
加久藤支店　℡３５－１２１１　真幸支店　℡３７－１３１１

農業労災保険に加入しませんか！

２５年度もえびの市内で農業用機械や家畜との接触による負傷事故が発生しました。

農業用機械による農作業中、あるいは家畜との接触で負傷しても、農業労災保険に加入しており、労災認定されれば、その療養期間中は全額無料で治療が受けられます。また、療養期間中（入院・通院）は休業補償金が支給される等の補償内容となっています。

中途加入も月割り保険料で加入できます。



いざという時のために、農業労災保険に加入しましょう！

◎参考掛金

給付基礎日額	保険料算定基礎額	年間保険料（掛金）	
		特定農作業従事者	指定農業機械作業従事者
１２，０００	４，３８０，０００	４４，０１９	２２，１１９
１０，０００	３，６５０，０００	３６，６８２	１８，４３２
５，０００	１，８２５，０００	１８，３４１	９，２１６

＊特定農作業従事者加入要件は、経営耕地面積２ｈａ以上または年間農畜産物販売金額３００万円以上の個別経営の本人及び家族従事者です。

◆詳しいお問い合わせ・お申し込み◆

ＪＡ本店 担い手支援課　３３－５７５８

「関係ない」　そう思わずに　勇気を出そう